

『科学と仏教思想』 宮澤正順先生頌寿記念論集の発刊にむけて

学校法人智香寺学園理事長 松川 聖業

このたび、科学と仏教思想研究センターの論文集が出来上がりましたこと、お喜び申し上げます。

浄土宗の大先達でもある宮澤正順先生には、長年にわたって埼玉工業大学の特任客員教授をお務めいただいております。市立高校の教員から大正大学の教員へと転身された変わった経歴の持ち主で、長く道教の研究に専念されると同時に、浄土宗僧侶として寺院の住職の職も務めておられます。

宗内では宮澤三兄弟と呼ばれる、長兄・宮澤善弘師（大本山光明寺元執事長）、次兄・山田和雄師（諏訪・貞松院住職）の末弟であり、優秀な兄弟として知られています。僧侶と研究者を兼ねておられる方の多くは、軸足を研究者として活躍されておられる場合がほとんどです。ですが、宮澤正順先生は、寺院住職と研究者の道をどちらも一切手を抜くことなく、寺院においては檀信徒教化に力を注ぎ、二足のわらじを全うされております。本年92歳を迎えられますが、現在も住職として、そして研究者としての矜持を失うことなく活躍されておられます。科学と仏教思想研究センターの勉強会でも、常に学問的探究心を失うことなく闊達な議論に参加され、参加者の方々を驚かせています。今後もさらなる研鑽を積まれることと存じます。

今回の論文集は、これまでに10年間積み重ねてきた勉強会での内容をまとめたものです。皆様の知見に役立てば幸いです。